

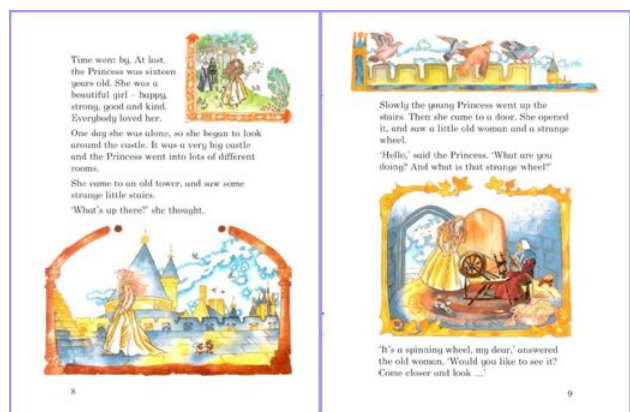
Classic Tales – A Magical Way to Learn English

このシリーズは、多くの子どもたちに親しまれてきたおとぎ話を集めたものです。5歳から12歳向けで、この教材を利用して、会話、読書、リスニング、ライティングの練習やドラマなどのアクティビティが可能です。

Classic Tales are Richly Illustrated

美しいイラストを利用しているので、子どもたちが物語の内容をよくわかるようになっています。子どもたちはイラストの細かい部分や自分の好きなキャラクターを見つけるのが大好きです。イラスト付の用語説明もついています。

1.) カラフルなイラスト



2.) イラスト付の用語説明



Suggested Teaching Guide

Classic Tales の物語を元にして、しっかりとした英語のレッスンを行うことができます。

Use a Big Book to introduce the story to the class

カバーについて話して、それから主な登場人物と語彙を紹介しましょう。生徒への質問: *Who can you see in the picture? Where are they? What are they doing / looking at?*

Let's tell this story together. 先生がページをめくりながら、生徒に物語の内容を話したり、想像するように促します。必要であれば次のように質問します。 *How does the story begin? Look at the pictures. What happens next?*



2ページ読み終わる毎に、*What happens next?* と聞き、生徒は次のページで何が起きるかを言い当てます(できれば英語の方が望ましいですが、この段階では日本語でもよいでしょう)。物語が終わる前に *How does the story end?* と聞きます。生徒は絵を書いて、エンディングを考えます。

教科書を開いたままで、Q and A の練習をします。 *Is it a...? Yes, it is / No, it isn't. Is there a...? Yes, there is / No, there isn't. What / Where / Why / Which / Who...?* など生徒同士で質問してもよいでしょう。

Acting... miming... ordering... retelling

カセットをかけながら、生徒たちが物語演じます。

物語全体をいくつかに分けて何枚かの紙に書きます。紙を生徒たちに配って、正しい順番にさせましょう。このアクティビティは文字でも絵でもできます。

物語を何枚かの紙に文字か絵で書きます。クラスをグループに分けて、紙を1枚ずつ配ります。1つのグループが紙を見ながら物語を演じ、その他のグループが物語のどの部分か言い当てます。



A4の紙を折って8ページの本を作る方法を生徒に教えます。生徒はカバーに自分の名前と物語の題名を書きます。そして各ページに主な単語と文を書きます。例: *The Enormous Turnip by Yukio Yasuda*; *The man pulls the turnip*; *The woman pulls the man*; *The boy pulls the woman*; *The girl pulls the boy*; *The dog pulls the girl*; *The cat pulls the dog*; *The mouse pulls the cat*. これは、物語にでてくる語彙や、内容をもう一度話すための練習になります。

Reinforcing language learning with the Activity Books.



Classic Tales のアクティビティ・ブックはさまざまなアクティビティがたっぷりあります。例えば、絵と単語を合わせたり、空所補充をする問題、正誤を問うものや選択式問題、単語や文の並べ替え、クロスワード、チャンツ、劇など、学習者が一人でもグループでも可能です。

アクティビティ・ブックに含まれているティチャーズ・ガイドには、Classic Tales とアクティビティ・ブックの使い方が分かりやすく書かれています。